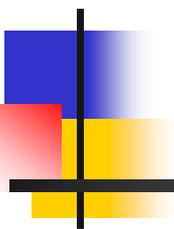


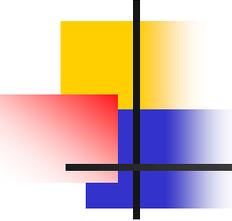
# 学校現場とのコミュニケーションについて ～教育振興基本計画の改定を契機として～



---

大森 不二雄

令和4年1月18日  
大阪市総合教育会議

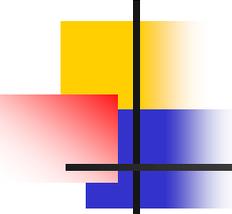


# 学校現場 ⇒ 教育行政

---

「広く一般の教職員からも直接提案を受けて教育長・教育委員へ伝える仕組みを検討していきます。」

大阪市教育振興基本計画(案) 22頁  
より引用



# 教育行政 ⇒ 学校現場（提案）

---

- 双方向のコミュニケーションのため。できるだけ定期的に
- 本市教育行政が実施してきている個々の政策に関し、政策意図、成果、課題等について認識を共有
- 多忙を極める教職員に読んでいただく工夫が重要
  - …1回のコミュニケーションあたり1トピックが適当
  - 短文による解説、端的なデータ等
  - 〔トピックの例〕学校安心ルール、いじめ対策、学力向上、ICT活用教育、働き方改革、等々（あくまで例示）
- インターネットで市民にも公開